



# 岐阜県高山市における 観光地イメージの変化

11310004

浅野和也

## I. はじめに

高山=古い町並のイメージ



(<http://matinami.o.oo7.jp/tyubu-tokai1/TAKAYAMATOP02-1.JPG>)

こうしたイメージはいつから持たれてきたのか？

神田(2010)

「観光地とは社会的に生産されたものであり、そのため其所を取り巻く社会的状況が変化すれば、しばしばその魅力や社会的な意味は変化する。」



高山も観光地としてのイメージは時代により変化してきたと考えるのが妥当



### 目的

高山の観光地としての魅力やイメージが社会的状況の変化にともないどのように変化したのか考察する。

既存研究

場所とイメージに関する研究→言説分析

成瀬ほか(2007)

地理学における言説分析

生産の場

消費の場

テキスト分析が有効



観光地

神田(2010)

狙い: 熊野の観光地としての魅力や意味づけが、社会的なコンテキストの変化にともないどのように変容したか明らかにする

方法: パンフレットなどから熊野の意味づけを抜き出し、社会の変化、制度の変化と関連させて論じる

本研究でも同様の手法をとる

## II. 研究方法

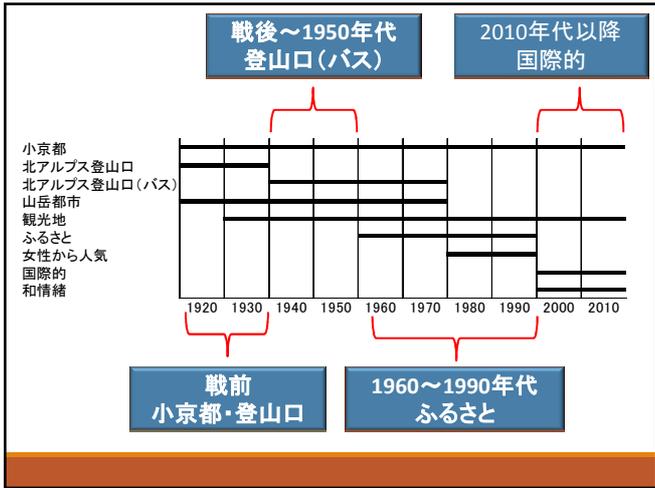
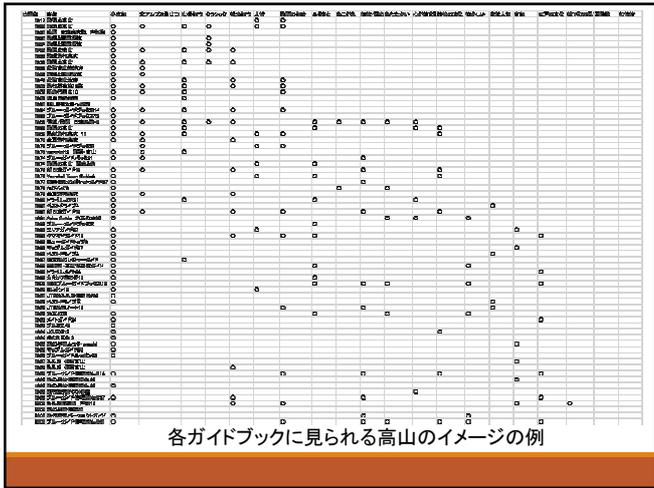
・旅行案内書等から観光地イメージに関する記述を抜き出す  
・イメージがどのように変化していったのか整理し、その要因を考察する

例: 1990年発行

『NEWブルーガイドブックス10 名古屋・高山・東海』

「昔と今が共存している。高山の町はいつ訪ねても不思議な町である。」

→高山に、不思議な町というイメージが持たれている。

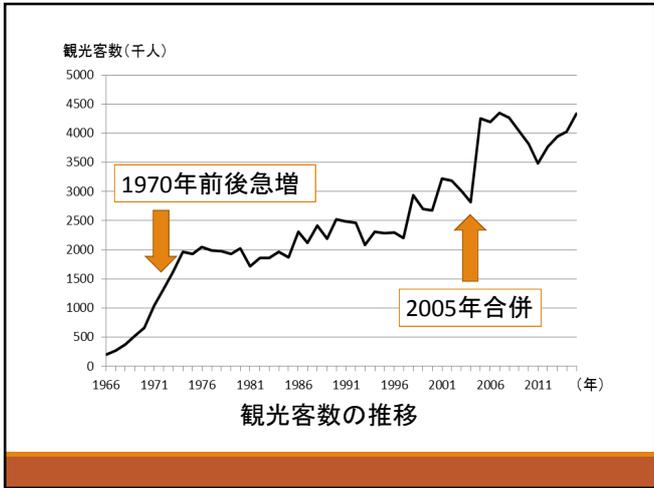
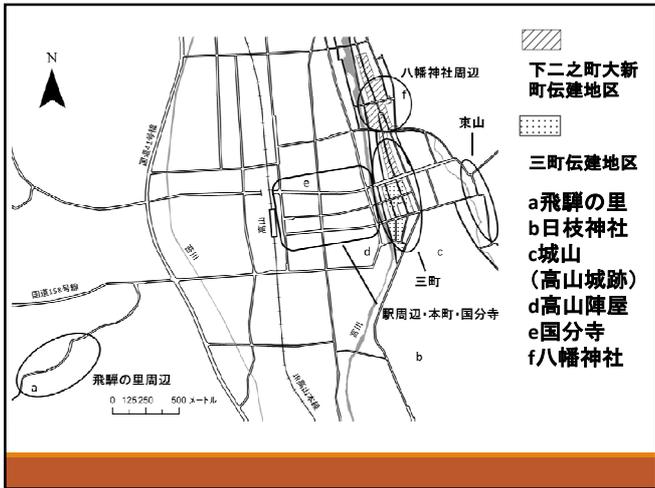


### Ⅲ. 調査地概要

- ・岐阜県北部、飛騨地方の中心
- ・2005年に周辺9町村を合併
- ・中心部には江戸時代以来の町並みが残されており、飛騨の小京都として有名
- ・主な産業は観光や家具の生産  
冷涼な気候を生かした農業も
- ・東に飛騨山脈、西に両白山地

凡例  
旧高山市  
高山市

0 12.5 25 50 キロメートル



## IV. 高山の観光地イメージ変化

### 1. 小京都と登山の時代

地元の人によって書かれたものが多い

地元以外では全国的な旅行案内の一部として紹介

1925年『飛驒之高山』

「飛驒の高山」が郷里だと對ふると、空には蛇や兎を狙ふ荒鷲が常に翔け舞つたり、地には熊や狼が勝手に出沒して、(略)

1934年『旅程と費用概算』

城山公園から眺めた大景色は、四山の山水美しくクラシックな町の様子と相對して京都の風致に似通う所から、一に小京都の名がある。

1925年『飛驒之高山』

「高山」は山の都には違ひはない。(略)絶好の避暑地であり、所謂「日本アルプス」登山客の集散地であるのは固より、(略)

→戦前の本格的観光地化以前の時代

僻地、小京都、日本アルプス登山口

### 2. 登山バスの時代

1955年『新旅行案内10 北陸・高山』

観光的には日本アルプスの飛驒側登山口として知られ、乗鞍登山のバスが発着し、ロマンスカーで豪快な登山が味わえる。



(<http://img01.hida-ch.com/ust/nfo/uf/nouhibus/s-523%E4%B9%97%E9%9E%8D%E2%91%A1%E3%83%9D%E3%82%B9k-fb.jpg>)

(<http://img01.hida-ch.com/ust/nfo/uf/nouhibus/s-523%E4%B9%97%E9%9E%8D%E2%91%A1%E3%83%9D%E3%82%B9k-fb.jpg>)

### 3. 「心のふるさと」日本有数の観光地化の時代

1966年『日本の旅3 信越/飛驒』

新幹線を利用すれば、東京からは5時間余。こころのふるさと、と呼ぶべき高山を一度は訪ねてみたいものである。

ただし、1960年代は一部のガイドブックのみ

1974年『飛驒の高山 —歴史と旅—』

この町を日本人の心のふるさと、などという。たしかに私たちの抱く古い日本の“故郷”のイメージを過不足なく具えている町であるといえよう

1989年『高山・飛驒路』

四季折々の変化の中で、高山は日本のふるさととして、静かにときの流れを紡いでいる。

1981年『ベストドライブ 信州・高山』

飛驒の小京都と呼ばれ、とくに女性から人気を得ている街である。

→心のふるさと、日本のふるさとのイメージ

一方で登山口としてのイメージは薄れる

女性人気も

### 4. 国際的観光地化の時代

2009年『楽楽中部6 高山・奥飛驒・白川郷・上高地』

雅な文化の薫り高い、世界も認めた古きよき町並

2015年『ブルーガイド・ムック飛驒高山』

日本有数の観光地として、最近では海外からの注目度もUP中！

2012年『ブルーガイド・ムック 飛驒高山』

日本のいいものが高山にはあります

→国際的な観光地、日本を代表する観光地

## V. 考察

### 1. 小京都と登山の時代

僻地 → 交通が不便、鉄道未開通  
 小京都 → 江戸時代の町づくりによるもの  
 町の中心の移動により建物が保存

### 2. 登山バスの時代

登山口 → 乗鞍登山バスの人気  
 → 1950年代からの登山ブームの影響

### 3. 「心のふるさと」日本有数の観光地化の時代

心のふるさと → 高山に古いものが残った  
 日本人のふるさと → ふるさとブーム

1974年8月刊ペン「タウン・カラーを守る高山」

この数年は、いつ高山へ行っても観光客でいっぱいである。(略)それは、ひと口に言って、日本の大部分の都会で失われていくことがあまりにも早かったからである。高度成長政策のなかでの都市の再開発や工業化が、よき古きものを、あまりにも早く取り去ったからにほかならない。それが、古きものを残し、保存してきた高山と、われわれが住んでいる普通の都会との距離感を生み、高山へひきつける。

「共同体」論や柳田民俗学のブーム  
 石井(2007)「故郷」=日本人の「祖型」を残存する空間

↓  
 町人の町である高山も「ふるさと」

ディスカバージャパンキャンペーン  
 都市で失われた日本  
 「日本人のふるさと」として商品化

高山も取り上げられる

### 4. 国際的観光地化の時代

2007年発行『ボワイヤジェ・プラティック・ジャポン』,  
 2009年発行『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン2009』

↓  
 高山三ツ星評価獲得

そもそも

1986年国際観光都市宣言  
 外国人観光客受け入れ態勢を整備する



## VI. まとめ

小京都・  
登山口の  
時代

登山バス  
の時代

「心のふる  
さと」日本  
有数の観  
光地化の  
時代

国際的観  
光地化の  
時代

## 参考文献

- 赤座憲久 1968. 『飛騨の高山』角川書店。  
 小杉欽造編 1981. 『Atlas Guide 地図の本35 マップ  
 ちゃんの高山・名古屋』日地出版。  
 あるつく社編集部編 1981. 『ベストドライブ4 信州・高  
 山』あるつく社。  
 後藤茂樹 1966. 『日本の旅・3 信越/飛騨』小学館。  
 石井清輝 2007. 消費される「故郷」の誕生—戦後日本  
 のナショナルイズムとノスタルジア—. 哲学117: 125-156。  
 佐藤真理子編 2009『美楽中部6 高山・奥飛騨・白川郷・  
 上高地』JTBパブリッシング。  
 入沢文明 1953. 『旅行叢書第16集 北陸高山地方』日  
 本交通公社。  
 実業之日本社編 1964. 『ブルー・ガイドブックス14 上高  
 地 瀧沢・穂高・常念・燕・大滝・焼・乗鞍・松本・高  
 山』実業之日本社。  
 内田順文 1989. 軽井沢における「高級避暑地・別荘地」  
 のイメージの定着について。地理学評論62A(7): 495-512。  
 清水隆郎 1955. 『新旅行案内10 北陸・高山』日本交通  
 公社。  
 神田孝治 2010. 熊野の観光地化の過程とその表象。国  
 立歴史民俗博物館研究報告156: 137-161。  
 ジャパン・ツーリスト・ビューロー編 1934. 『旅程と費用概  
 算』博文館。  
 岐阜県 1972. 『岐阜県史 通史編近代下』岐阜県。  
 高山市『平成27年 観光統計』  
 http://www.city.takayama.lg.jp/\_res/projects/default  
 \_project/\_page\_/001/007/406/h28kankoutoukei.pdf  
 (2017年1月7日確認)  
 岐阜県高山町編 1925. 『飛騨の高山』住友商店。  
 K&Bパブリッシャーズ編 1989. 『カドカワ旅ログ10 高  
 山・飛騨路』角川書店。  
 御後陽子 1994. 小京都—その景観とイメージの考察—。  
 高山大学1993年度卒業論文

高山市編 1981.『高山市史 第一巻』高山印刷株式会社 峰村均編 2013.『ブルーガイド・ムック 飛騨高山おさん  
高山市編 1982.『高山市史 第二巻』高山印刷株式会社 ほマップ』実業之日本社  
高山市編 1981.『高山市史上巻(復刻版)』高山印刷株式会社 峰村均編 2015.『ブルーガイド・ムック 飛騨高山おさん  
会社 ほマップ』実業之日本社  
田村紀雄 1974. 連載 自立をめざす日本のまち5 タウン・村井康彦 1987. 花巻から小京都へ—中世文学史の問題  
カラーを守る高山 月刊ペン7(8):178-185. — 国文学解釈と教材の研究32:76-81.  
長野県編 1990.『長野県史 近代資料編第10巻(二)』長 山崎直方・佐藤伝蔵編 1915.『大日本地誌 巻3(中部)』  
野原 博文館.  
成瀬厚・杉山和明・香川雄一 2007. 日本の地理学[におけ 山と溪谷社編 1975.『Yamakei Town Guide4 高山・郡上  
る言語資料分析の現状と課題—地理空間における言語 八幡・飛騨古川・岐阜』山と溪谷社.  
の発散と収束—. 地理学評論80(10):567-690. ライフイーエックス編 1995.『ブルーガイドニッポン23 高  
山・白川郷・新穂高』昭文社.  
布川欣一編 2005.『目で見る日本登山史』山と溪谷社.  
橋本 隆宏編 1999.『ブルーガイド情報版No.037 上高地・ 山・白川郷・新穂高』昭文社.  
乗鞍・奥飛騨・高山・下呂』実業之日本社  
樋口桃子編 2010.『タビハナ中部5 飛騨高山・白川郷』  
JTBパブリッシング.  
藤田佳久・田林明編 2007.『日本の地誌7 中部圏』朝倉  
書店.  
ブルーガイド編集部編 1990.『NEWブルーガイドブックス  
10 名古屋・高山・東海』実業之日本社.  
松田清 1969.『最新旅行案内11 名古屋・東海』日本交  
通公社.  
松田清 1970.『全国旅行案内』日本交通公社.  
峰村均編 2012.『ブルーガイド・ムック 飛騨高山おさん  
ほマップ』実業之日本社.